

宮代地区まち協通信

第109号

発行日

令和 5年1月1日

2023年



南宮大社の“卯”

霞間ヶ溪

揖斐郡池田町藤代

地盤がゆるく、災害の多かった「鎌ヶ谷」に土砂崩れ防止のために植えられた、山桜、エドヒガンザクラ、しだれ桜など約8種類、1,500本の桜が次第に繁殖し、遠くから見ると薄桃色の霞がかかったように見えることから「霞間ヶ溪」と呼ばれるようになりました。



池田町 霞間ヶ溪から岐阜城を望む

撮影: 福本 莞さん

南宮大社絵馬



開運招福

新年のご挨拶

宮代まちづくり協議会 会長 西川 一明

目次

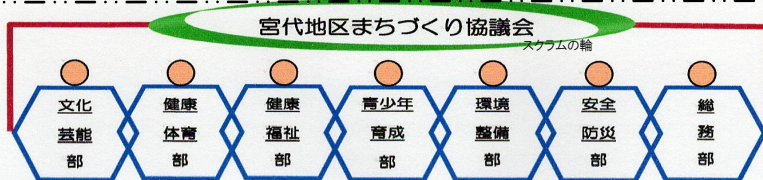
- 新年のご挨拶
- 行事予定 (1月度)
- さわやかスポーツ 宮代2022大会
- 活動報告 <11月・12月の活動>
- 第63回宮代文化祭
- 文芸の広場 中山社 北野句会
- 宮代の人物シリーズ
- 編集後記

令和5年(2023年)新年明けましておめでとうございます。令和に入りコロナ感染で色々なことで支障をきたしております。垂井町に於いても毎日新規感染者が出ています。2021年よりワクチン接種が始まり、若い年代から高齢者まで幅広い年代で行われています。抗体検査の会場まで設置されました。どこに行っても、検温、マスク着用が義務づけられ、習慣化されています。はやく元通りになることを願っています。さて、宮代まちづくり協議会も他地区と同じく、コロナでいろいろな行事が出来ない状態になっています。ただ、令和4年度は特に“ふれあいスポーツ2022“に於いて小学校の協力もあり3年ぶり

に開催することが出来ました。小学校においては9月・10月の草刈りに草刈りボランティアの協力を得て校庭の草もすっかりなくなりました。地域と学校が協力しあう



「地域学校協働活動」(コミュニティスクール)の実践であると思います。本年は当協議会の三大行事(夏祭り・運動会・文化祭)が以前のように開催出来ることを願っています。そのためには、宮代の方々のご協力がなくてはなりません。何卒よろしくお祈りいたします。



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	6日・20日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	ヨガ教室	6日・20日 13:30~15:45	金	まちセン 2階 和室	
3	水彩を楽しむ会	7日・21日 9:00~12:00	土	まちセン 小会議室	
4	音(おと)楽(らく)倶楽部	11日・25日 18:30~21:00 12日・26日 10:00~12:00	水 木	まちセン 大会議室	
5	TS 琴好会「大正琴」	12日・26日 14:00~16:00	木	まちセン 大会議室	会員募集中
6	絵手紙教室	15日・29日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
7	シニアはつらつ教室	16日 13:00~15:10	月	まちセン 大会議室	会員募集中
8	千之子ども教室「親子凧あげ大会」	29日 9:00~12:00	日	小学校体育 館・グラウンド	50組

“さわやかスポーツ宮代2022大会” 12月4日(日) 朝倉町民体育館

昨年に続き、地区ごとの対戦を無くしての競技としましたが、今年もコロナ禍での大会となり思うように参加者を集めることができませんでした。感染対策として、体育館の換気、マスクの着用をお願いし、なるべく密集・密接をしないように心掛け、限られた参加者で、ドッチビーでは不破高校の生徒さんにもメンバーの足りないチームに入ってもらい5チームで対戦、また、スリッパ卓球では、参加者が7名だったためチーム戦をやめて、個人戦に変更して対戦してもらいました。グラウンドゴルフは、自由広場にて、寒い中、グラウンドゴルフ協会の方にご指導頂き世代間交流ができ、皆さん元気よく楽しくプレーしていました。

体育推進委員・中学校PTA・子ども会育成会・不破高校生のご協力ありがとうございました。

本年は暖かい時期に、沢山の参加者で開催出来ればと思っています。

開会式の様子



グラウンドゴルフ



スリッパ卓球



ドッチビー



活動報告



11/21~12/20



11月27日(日)絵手紙教室



11月29日(火)京都府久御山町民生教育常任委員会来館



12月3日(土)「水彩の会」初めて開催



12月5日一人暮らしの集いに子ども園ぞう組さんが来館



12月12日(月)宮代長寿会役員会



12月16日お正月に向け寄せ植え教室開催



第63回宮代文化祭 開催

11月20日(日)~23日(水) 宮代地区まちづくりセンター

第63回宮代文化祭は、コロナの感染対策から昨年同様文化作品の展示をまちづくりセンター1・2階で開催しました。1階はセンターで活動する各教室・クラブの作品、子ども園の児童の作品、小学生の絵画、陶芸作品。2階は和室に池坊生花、親子お花教室・子ども園お花教室の生花を、多目的ホールに子ども会育成会が作成した行燈を展示しました。また、小会議室には南宮山雨乞い太鼓踊り保存会の資料を展示しました。センター東側の駐車場では、野菜・柿の販売があり、昨年と比べ開催日数、展示場所を縮小しての開催となりましたが、展示品はいずれも見事な作品で十分に堪能させて頂きました。

第六十三回文化祭開會式



池坊生花



子ども会育成会 行燈



千之子どもお花教室



水墨画教室



小学生見学に来館



陶芸教室



絵手紙教室



中山社 北野句会



宮代小一・二年生絵画



野菜柿販売風景



老爺柿



宮代伝統の句会、身を地に託し
その心を言葉の華と咲かせて
届けて下さる人がいます……

*濃き紅を 散らす山路や もみぢ坂
川瀬 慶泉

*箒目の 筋美しく 落葉のる
三和 光子

*元朝の あかり庁舎を つつみ込む
清水 るり

*冬の朝 しづく流れて 光る窓
石垣 珠泉



宮代の人物シリーズ

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

その一 宮勝木実 (みやのすぐりのこのみ)

宮勝木実は、美濃国当芸群野上郷仲山の麓に生まれたといわれ、
天武・持統両朝のころ、不破郡の大領職となり宮代に住まいした。
宮勝は、百濟国人 多利須々の後胤で、百濟系帰化人である。
木実は、壬申の乱(672年)の際には、17人を率いて
村国男依(むらくにのおより)に属して、不破の関を守り、
近江軍(大友皇子)を破った。
壬申の乱の後、武功抜群の木実は、当芸群から分立した不破郡
を賜り、姓も不破と改めた。
大宝2年(702年)11月、持統天皇が養老行幸の際、功臣
として、外従五位下という破格の叙位を授けられた。
霊龜元年(715年)没。木実没後は村人などが神に祀った。
大領神社のご祭神は木実であると言われている。

(新修 垂井町史より)

参考; 「不破寿麻呂」「不破家系譜」では、仲山金山彦神社に
「代官大夫」として戦勝祈願の奉幣を行ったと記されて
いる。



宮勝木実が祀られている大領神社



宮勝の一旅の氏寺といわれている
宮代廃寺跡

<編集後記> ★癸(みずのと)卯年

兎には跳ねる特徴があるため景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており
ます。うさぎは、穏やかで温厚な性格であることから「家内安全」、またその
飛躍する姿から「飛翔」「向上」を象徴する物として親しまれて来ました。
新しいことに挑戦するのに最適な年といわれています。私達の生活が「向上」
する年になって欲しいものです。

1月・2月(予定)の休館日

1月 1日(日)~4日(水)
10日(火)・17日(火)
24日(火)・31日(火)
2月 7日(火)・14日(火)
21日(火)・28日(火)

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代の冬景色の特徴 雪の季節来近し

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい